



(地方創生推進交付金事業)

多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 実施報告書

政策調整課
平成30年8月



目 次

1. 事業実施の趣旨・目的	4
2. 多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 全体概要	4
3. 実施内容	7
4. 事業費	22
5. 事業の分析	22
6. 事業の効果	35
7. 今後の展開	35





1. 事業実施の趣旨・目的

上牧町は昭和 40 年代からベッドタウンとして急激に発展を遂げてきたが、その時期に転入してきた世代の高齢化が進んでおり、今後も高齢化率の上昇が予想される。さらに子どもの独立などで、独居の高齢者も増えており、少子高齢化は地域コミュニティの衰退を招き、様々な世代の人たちの社会的孤立が課題として浮き彫りとなっている。そうした背景から、地域のつながりの希薄化に歯止めをかけ、高齢者が多世代と交流しながら、活躍する場と機会を創出できる体制を構築し、上牧町が抱えている若者世代の人口減少による将来の担い手不足を、アクティブなシニア世代と小さな子どもからあらゆる世代が協働できる新たなコミュニティの形成や様々な取り組みの実施によって、子どもの地元への愛着を醸成し、将来的な若者の定着につなげることで克服していきたいと考える。本事業においては、元気なシニア世代が有する優れた技術や能力を活用することで、地域の活力の創出や健康寿命の延伸につなげることを目的とするだけでなく、取組みを通じて技術や能力を交流する子どもや若者に継承することが期待されるほか、地域で子どもを育てる機運を醸成し、郷土への愛着や規範意識、学力を育み、子育て環境の充実により、出生率向上への好影響やしごとの創出など、様々な効果を発揮し、町が抱える課題の解決にも寄与するものである。行政においては、その構造的な課題の解決に向けて、受入体制等の環境整備が急務となる。

2. 多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想 全体概要

まきっ子塾

- 対象者……………上牧町内在住の小学校 1 年生から 3 年生
ただし、下校の安全を考えて、保護者のお迎えが可能な児童に限られます。
- 場所……………在籍する小学校
- 日程……………毎週水曜日（春休み、夏休み及び冬休みはありません）
- 学習時間……………学校が終わってから、放課後にします（1 時間程度）
＊まきっ子塾終了後に学童保育に行かれる児童は学童保育所までお送りします。
- 指導内容……………①学校の宿題 ②早く終わった児童には、学習プリント
- 学習アドバイザー…元教諭、教育大学の学生や将来教師を目指している大学生など
- 自己負担額……………なし



起業・創業支援セミナー & ワークショップ

➤ 目的

- (1) 上牧町内での創業・起業を志すターゲットの掘り起こしのため
- (2) 参加者の創業に必要な基礎的な知識習得及び関心向上のため
- (3) 参加者の意欲を掻き立て、活力あふれる町民と協働によるまちづくりを推進するため
- (4) 多世代交流のなかで、新たなアイデアの創出により地域の活性化につなげるため

➤ 内容

- (1) 上牧町内での創業・起業を志すターゲットの掘り起こし

既存資料をもとに、これまで公募型補助金を活用されたかた、人財バンクに登録されているかたの掘り起こし、また地元創業者へのヒアリングにより創業における地域資源の特性の掘り起こしを図る。

- (2) 参加者の創業に必要な基礎的な知識習得及び関心向上

参加者の創業に必要な基礎的な知識習得及び関心向上に向けて、セミナー・ワークショップの開催。

➤ 事業費

399,600円（委託料）

➤ 開催スケジュール

（セミナー） 平成 29 年 12 月 16 日（土） （ワークショップ） 平成 30 年 1 月 21 日（日）

➤ 対象（メインターゲット）

町内在住のかた。特に、これまで公募型補助金を活用されたかたや人財バンクに登録されている、また起業・創業に関心のあるアクティブシニア。

大学連携等による生涯学習講座の実施

➤ 目的

上牧町が大学等と連携のもと、出前講座型の生涯学習講座を実施することにより、町民の多様な学習意欲に応えるとともに、健康寿命の延伸をはじめとする地域課題に対する取組みを地域に浸透させる役割（小地域における出前講座の実施など）の担い手など、高齢化社会に対応する人材の育成を目的とするもの。

➤ 連携先

奈良女子大学・上牧町教育委員会

➤ 講座内容

健康支援／英語／上牧町歴史ガイド養成

➤ 実施日（健康支援講座）

平成 30 年 2 月 18 日（日）～ 3 月 18 日（日） 全 3 回

（英語講座）

平成 30 年 2 月 22 日（木）～ 3 月 22 日（木） 全 3 回

（上牧町歴史ガイド養成講座）

平成 30 年 3 月 1 日（木）～ 3 月 15 日（木） 全 3 回



➤ 事業費

450,080 円（報償費・旅費・印刷製本費）

➤ 実施場所

上牧町ささゆりルーム 2,000 年会館（多目的室・会議室②） 第一体育館 役場（西館）

➤ 対象

- ①上牧町内在住または在勤のかた
- ②上牧町への移住を検討されているかた

アクティブシニア移住支援コンシェルジュ開設

➤ 目的

あらゆる世代にとって暮らしやすいまちづくりの推進の一環として、高齢者が希望や生きがいを持って暮らすことができるよう、様々な取り組みを実施しているなかで、取り組みに関する情報発信とともに、上牧町への移住を検討しているかたに対し、検討の段階から移住後まで切れ目のないサポートを実現できるよう、ワンストップ窓口を開設するもの。

➤ 開設日

平成 29 年 12 月 28 日（木）

➤ 事業費

57,922 円

➤ 実施方法

対面式デスクを設置

➤ 開設場所

上牧町役場 2 階 政策調整課

➤ 対象

- ①上牧町内在住または在勤のかた
- ②上牧町への移住を検討されているかた



3. 実施内容

まきっ子塾 …… 別紙資料参照

起業・創業支援セミナー＆ワークショップ

★ 開催概要

① 起業・創業支援セミナー＆ワークショップ実施概要

セミナーでは、専門家による財務、経営、人材育成、販路開拓のポイント等の起業に向けた基礎的な講義を行うとともに、地元創業者の講演による事例研究を実施する。

ワークショップでは、地元創業者と創業希望者による地域資源や地域で求められていること等について意見出しするとともに、創業イメージについて各自検討し、互いの想いを共有・整理する。

【位置付け】

セミナー : 基礎編

ワークショップ : 応用実践編

テーマ	起業・創業支援セミナー
日時	平成 29 年 12 月 16 日（土）13：00～15：00
場所	上牧町保健福祉センター（2000 年会館）2 回 会議室 2
対象者	これまで公募型補助金を活用されたかたや人財バンクに登録されている、また起業・創業に関心のあるアクティブシニア など
内容	専門家による財務、経営、人材育成、販路開拓のポイント等の起業に向けた基礎的な講義を行うとともに、地元創業者の講演による事例研究を実施する。

テーマ	起業・創業支援ワークショップ
日時	平成 30 年 1 月 21 日（日）13：00～15：00
場所	上牧町役場 地下 1 階 大会議室
対象者	これまで公募型補助金を活用されたかたや人財バンクに登録されている、また起業・創業に関心のあるアクティブシニア など
内容	地元創業者と創業希望者による地域資源や地域で求められていること等について意見出しするとともに、創業イメージについて各自検討し、互いの想いを共有・整理する。



②セミナー開催案内

起業・創業支援セミナー＆ワークショップ開催にあたっては、案内チラシを作成し、上牧町ホームページ、これまで公募型補助金を活用されたかたや人財バンクに登録されているかた等に対して、広く周知しました。

上牧で 自分のしごとをつくる。

全2回
12/15（金）申込締切
先着50名
参加無料

起業創業支援セミナー＆ワークショップ参加者募集

セミナー：2017.12.16（土） ワークショップ：2018.1.21（日）

町民が培ってきた経験やスキルを生かしたソーシャルビジネスなどの自立事業化（創業）に向け、起業・創業希望者に対してセミナー＆ワークショップを開催します。

セミナーにおいては、専門家による財務、経営、人材育成、販路開拓のポイント等の起業・創業に向けた基礎的な講義を行います。

ワークショップにおいては、地域実践者による助成紹介、起業・創業希望者同士で地域資源や地域で求められていること等について意見出しを行い、起業・創業イメージを検討します。

▶ **対 象** 上牧町内を中心に起業・創業希望の方、起業・創業間もない方、事業を後継する予定の方、これまで公募型補助金を活用された方、人財バンクに登録されている方など興味のある方ならどなたでもご参加頂けます。

▶ **日時・場所** ◇セミナー
2017年12月16日（土）13：00～15：00
上牧町保健福祉センター（2000年会館）会議室2
◇ワークショップ
2018年1月21日（日）13：00～15：00
上牧町役場 地下1階 大会議室

▶ **申し込み方法** 事前申し込みが必要です。①お名前 ②日中に連絡が取れる電話番号を12月15日までにTEL・FAX・メール、いずれかの方法で、お申し込み下さい。

▶ **そ の 他** 原則、セミナーとワークショップの両方を受講できる方に限ります。

▶ **問 合 先** 上牧町 総務部政策調整課 担当 日高
TEL：0745-76-1001 FAX：0745-76-1002
Email seisaku@town.kanmaki.lg.jp

●セミナープログラム(12/16)

I. 本事業の報告
上牧町の創業支援等の説明・報告

II. 講演
講師：志賀 公治
（上牧町産業振興・まちづくり推進課 課長）
「市場ニーズのとらえ方」

III. 意見交換

●ワークショッププログラム(1/21)

I. 本事業の報告
上牧町の創業支援等の説明・報告

II. 町内実践者の取組紹介
登壇者：田村 広司
（株式会社 東春 代表）
2017年「ふたばと野良猫の癒やし」をテーマとしたワークショップ（オナジツクリ）を上牧町でオープン。

III. ワークショップ
①自己紹介
②意見交換
③助成開募、開募に求められていること・必要なこと
④創業イメージの検討
（1時間・休憩を挟みながら進められること、最終的に創業決定）

参加申込み

氏名（ふりがな）

TEL（日中に連絡が取れる番号）

TEL 0745 - 76 - 1001
FAX 0745 - 76 - 1002
Mail seisaku@town.kanmaki.lg.jp

★メールでのお申込みの場合は、上記必要事項をご記入ください。
 本申込書にご記入いただいた個人情報については、参加者名簿、連絡のみに使用させていただきます。



★ 開催記録

➤ 起業・創業支援セミナー

○プログラム

次第	概要
開会あいさつ	・主催者（上牧町役場）による開会あいさつ
事業報告	・町の商業支援等の説明・報告
講義	志賀 公治（コンサルティング・パートナー“ A U B E オーブ”代表）
質疑	
自己紹介	参加者の自己紹介（1 分程度） ・住まい ・経歴 ・持っているノウハウ、技術 ・やりたいこと
閉会	・次回ワークショップの案内 ・アンケート回答後、退出

○講師プロフィール

志賀 公治（中小企業診断士、商業施設）

小売業に 20 年勤務。路面店、ショッピングセンターのテナント店、百貨店・ファッションビルのインショップ等各種業態で、現場から、店長、エリアマネジャーを経て本部へ、店舗統括に長く携わる。特に、新たな業態開発、店舗企画の担当として多数の店舗オープンや改装に立ち会う。また、店舗立ち上げ時の運営、指導に当たる。

現在、各中小企業支援センター・商工会議所・企業等で経営革新支援、創業支援、セミナー・研修講師などに従事。特に開業・創業支援では 100 店舗以上の実績がある。





★ 創業支援ワークショップ 開催風景





★ 起業・創業支援ワークショップ

○プログラム

次第	概要
受付	・参加者に対し、「①起業・創業」、「②社会貢献活動（まちづくり）」の2テーマを聞き、各テーブルに振り分ける。※1班5～6名
開会あいさつ	・主催者（上牧町役場）による開会あいさつ
事業報告	・町の起業・創業支援等の説明・報告
町内実践者の紹介	登壇者：田村 広司（株式会社 青春 代表） ・自己紹介 ・現在の取組み ・起業・創業した理由（やりたかったこと、自分のスキルをどう活かしたかったか等） ・上牧町で起業・創業した理由 ・今後の展望
質疑	
ワークショップ	「自己実現に向けて自分でできること・必要なことを整理しよう」 自己実現（起業・創業）に向け、自分のやれること・出来ることを整理するとともに、自分に不足していること・他者から求めることを整理し、組み合わせることで自己実現のストーリーを具体化する。 裏テーマ：「“求む”・“提供”の重要性に気づく」 参加者は自己実現に向け自身でどうすれば（どう進めれば）よいかわからず、「自身で全てを用意・準備しなくてはならない」とイメージされていると思われ、ハードルを高く設定している可能性があるため、自身が持っていない“コト”を“求める・提供いただく”ことで実現しやすくなると感じてもらう。 WS においては、参加者同士で自己実現に向け“求めるコト”・“提供できるコト”を共有し、それらを材料として自己実現のストーリーを検討する。
閉会	・次年度以降の町取組み PR ・アンケート回答後、退出



○登壇者プロフィール

田村 広司（株式会社 青春 代表）

- ・ 1977 年奈良県生まれ。
- ・ 東京ビジュアルアーツ写真学科卒業後、フリーカメラマンとして活動。
- ・ 2007 年カフェと写真室の複合ショップ「ナナツモリ」をオープン。



写真撮影業務と同じくして写真教室を開始、今期で 11 年目を迎える。廃倉庫をリノベした手作りの卒業制作展や、地域を巻き込んだチームで戦うフォトカップ、障害福祉施設での大規模写真撮影会など、様々な企画を展開。写真を「カメラの技術」として捉えるではなく、その周辺にある「副産物」にフォーカスした独自の写真教室を確立、これまでのべ 1000 人以上に写真の楽しさを伝える。

初心者クラス「とびら」こども写真教室「みらい」など、小学生から 60 代まで、様々な年代を対象に写真教室を行う。中でもこども写真教室は、韓国や東京にも招待され作品展を行うなど、精力的に活動。

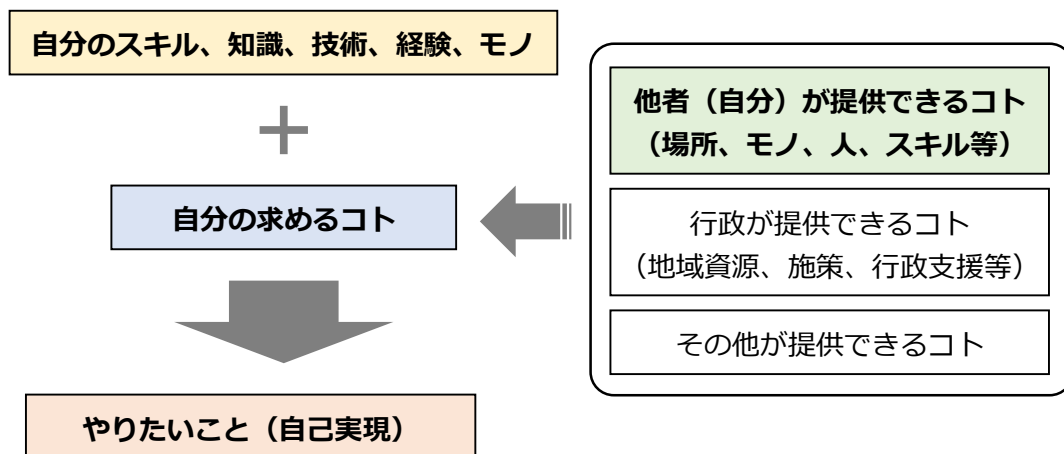
- ・ 2014 年陽楽の森にて、林業×クラフトフェア「チャイムの鳴る森」を企画、主催。
このイベントは 2 日間で 5000 人を集客、大手アウトドア企業からもイベントの説明を求められるなど日本の森の未来を考えた「新しい林業の形」その可能性を提示し、多くの反響を呼ぶ。
- ・ 同年、奈良の魅力発信する web マガジン「アメカヒヨリカ」立ち上げ、編集長を務める。
- ・ 2015 年からはカフェや写真業務以外にも、イベント企画、ブランディング、リノベーション、デザイン業務など林業、住宅、温泉、福祉、行政など外部からの仕事を請け負う。
- ・ 2016 年株式会社青春を設立、代表取締役就任。
- ・ 2017 年には天川村の温浴施設「天の川温泉」と「みずはの湯」2 施設を山と温泉共同事業体の一社として温泉運営に参入。
株式会社青春は、主にブランディング、デザイン（HP、ロゴや看板、のれん、パンフ、雑貨など）商品開発などを担当。
「山と温泉のしあわせな物語」をコンセプトに、薪ボイラーを使って湯を沸かし地域を温める新しい林業と地域モデルの確立を目論んでいる。
- ・ 2017 年ナナツモリに併設したタルトとマフィンのお店「okashiya kiirō」オープン。
- ・ 同年、デザイン事務所「クリームソーダ」設立予定。
業種の枠を超えて、夢中になれる機会の創出「居場所をつくること」が仕事。



○ワークショップ

ワークショップでは、起業・創業に向けて、自分もつ経験やスキル、知識を再認識し、自分が今求める「コト」について整理します。それら個々の想いを参加者同士共有することで、互いのもつスキルや求める「コト」をつなぎ、補い、自己実現へのヒントを見出します。

○自己実現に向けたストーリーイメージ



※色箇所：WS 検討項目

■各テーブルで意見交換

ステップ 1

- ・やりたいこと（自己実現）とその理由を赤付箋に記入
- ・自分のスキル、知識、技術、経験（得意技、特技）を黄付箋に記入
- ・自分の提供できるコト（場所、モノ、人、スキル等）を緑付箋に記入
- ・テーブル内で発表し共有。

ステップ 2

- ・やりたいこと（自己実現）を実現するために求めるコトを青付箋に記入

ステップ 3

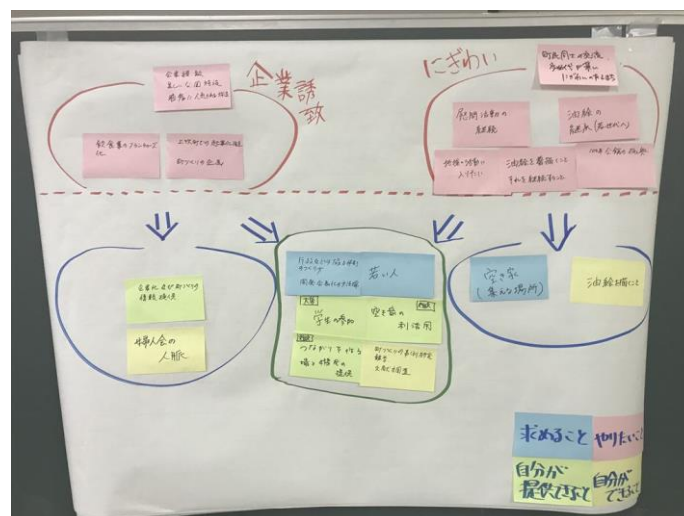
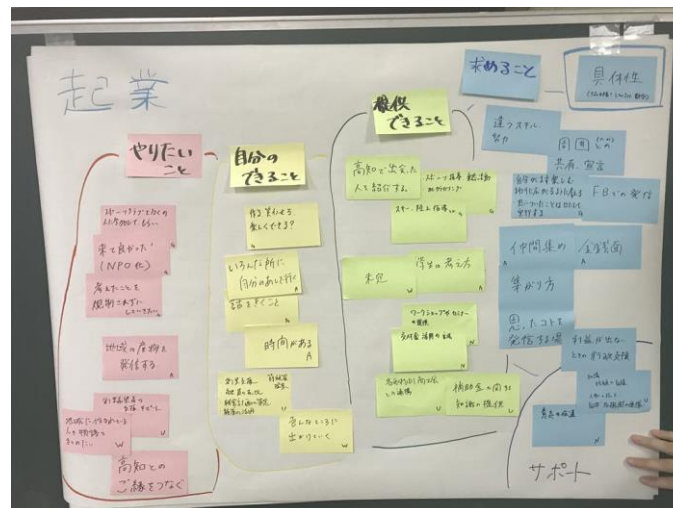
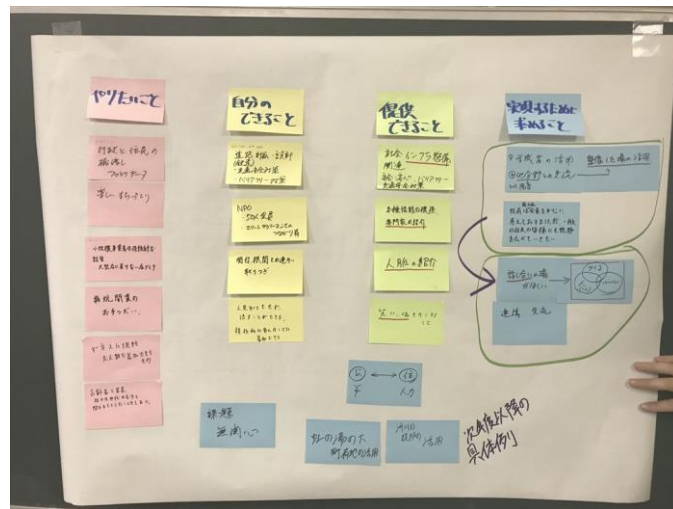
- ・やりたいことを実現するためのストーリーを整理・意見交換





■発表

テーブルごとに出てきた意見を整理し全体で共有





	やりたいこと	自分のスキル・ 知識・技術・経験・ モノ	他者（自分）が提 供できるコト	実現するために求める コト
A 班	・企業誘致 ・美しい公園施設 ・若者に人気のある施設 ・飲食業のフランチャイズ化 ・上牧町での起業促進 ・まちづくりの企画 ・町民同士の交流 ・多世代が集い賑わいのあるまち ・慰問活動の継続 ・油絵の若者世代への継承 ・地域の活動に入りたい ・油絵を描くこと、継承すること ・100 年会館の振興	・婦人会の人脈 ・まちづくりの事例研究・報告 ・文献調査 ・油絵を描くこと	・企業及びまちづくりの情報提供 ・学生の参加（大学） ・空き家の利活用（行政） ・つながりをつくる場と機会の提供（行政）	・行政などの協力体制の作り方 ・開発企画化の方法論 ・若い人の参加 ・空き家（集える場所）



	やりたいこと	自分のスキル・知識・技術・経験・モノ	他者（自分）が提供できるコト	実現するために求めるコト
B 班	・スポーツクラブに多くの人に参加してもらいたい ・考えた事を規制されずに取組みたい ・地域の産物を発信する ・創業希望者を支援・サポートしたい ・地域に住まれている人の物語をまとめたい ・高知とのご縁を繋ぐ	・楽しい雰囲気をつくる ・色々なところに自分の足で行く ・話を聞くこと ・時間がある ・創業支援 ・融資の斡旋 ・経営計画の策定 ・施策の活用 ・節税対策の提案 ・色々な場所に出かけていく	・高知で出会った人を紹介する ・スポーツ活動指導 ・楽器活動 ・カウンセリング ・学生の考え方 ・ワークショップやセミナーの提供 ・交付金活用の方法 ・各市町村商工会との連携 ・補助金に関する知識の提供	・違うスキル ・周囲との共有・宣言 ・自分がまず楽しむ ・周りに広がるように考える ・思いついたことは口にして実行する ・Facebook での発信 ・仲間集め ・金銭的補助 ・集まり方 ・思った事を発信する場 ・利益が出ないときの行政支援 ・知識・経験の蓄積 ・人脈の拡大 ・各機関との連携 ・意思の伝達
C 班	・行政と住民の橋渡し（ファシリテーター） ・楽しいまちづくり ・小規模事業者の持続的な経営 ・大型店に負けない店づくり ・新規開業のお手伝い ・ギネスに挑戦（大人数で参加できるもの） ・高齢者と若者、様々な世代の方々と関わるようなことがしたい	・道路計画・設計 ・交通安全対策 ・バリアフリー対策 ・NPO 活動 ・エリートサラリーマンとのつながり ・関係機関との連携・取り次ぎ ・人見知りをせず話すことができる ・積極的にいろんな事に参加できる	・社会インフラ整備 ・安全安心・バリアフリー・交通安全対策 ・各種情報の提供 ・専門家の紹介 ・人脈の紹介 ・場を和ますこと	・学識者の活用 ・他分野との交流 ・交流の場（商工会）一般住民を巻き込む話し合いの場がほしい

大学連携等による生涯学習出前講座

★ セミナー開催案内

大学連携等による生涯学習講座の開催にあたっては、案内チラシを作成し、上牧町ホームページ、広報かんまき、アクティブシニア移住支援コンシェルジュにおいて広く周知しました。



「幸せを呼ぶ」健康支援講座

みんなで楽しくエクササイズ！

第1回 平成30年2月18日（日）

第2回 平成30年3月 4日（日）

第3回 平成30年3月18日（日）

裏面
詳細



英語
ENGLISH

「話しかけたくなる」英語講座
異文化交流で学ぶ英語と心のバリアフリー





第1回 平成30年 2月22日(木)

第2回 平成30年 3月 5日(月)

第3回 平成30年 3月22日(木)

裏面
詳細

**歴史
HISTORY**

上牧町歴史ガイド養成講座

来たれ！上牧歴史街道夢浪漫の伝道師！

第1回 平成30年 3月 1日(木)

第2回 平成30年 3月 8日(木)

第3回 平成30年 3月15日(木)

と き 午後2時から午後4時まで

ところ 上牧町役場 西館3階集會室

裏面
詳細

[illegible]

広報&チラシ



★ 上牧町×奈良女子大学 健康支援講座 （参加者 30 名）※定員 30 名

（第 1 回）平成 30 年 2 月 18 日（日）13：00～15：00 於：上牧町ささゆりルーム

- 前半パートとして、奈良女子大学 星野聡子先生による講義
「運動とリラックス・睡眠の関係」を実施しました。



- 後半パートとして、引き続き、星野聡子先生と学生にも加わって
いただき、「ストレッチ：からだへの気づき」と題し、実技を実施
しました。



（第 2 回）平成 30 年 3 月 4 日（日）13：00～15：00 於：2000 年会館 多目的室

- 前半パートとして、奈良女子大学 中田大貴先生による講義
「運動による脳の活性」を実施しました。



- 後半パートとして、引き続き、中田大貴先生と学生にも加わって
いただき、実技「コグニサイズ＆ボッチャ」を実施しました。





(第3回) 平成30年3月18日(日) 13:00～15:00 於: 第一体育館

- 前半パートとして、奈良女子大学 井上洋一先生による講義「運動・スポーツを通じた健康なまちづくり」を実施しました。



- 後半パートとして、引き続き、井上洋一先生と学生にも加わっていただき、実技「スポンジボールのテニス実習」を実施しました。



★ 上牧町×奈良女子大学 英語講座 (参加者 27 名) ※定員 30 名

(第1回) 平成30年2月22日(木) 10:00～12:00 於: 上牧町役場 西館集会室

- 前半パートとして、奈良女子大学 松岡悦子先生と留学生 5 名によるレクリエーションとして、参加者が各班ごとに分かれて、留学生に英語でインタビューを実施し、取材した内容を英語で発表しました。その後、留学生から母国について英語を紹介していただき、参加者のかたがたも興味深く話に耳を傾けていました。

※ 留学生はオランダ、ルーマニア、ドイツ、バングラデシュ、インドネシアのかたです。



- 後半パートとして、第3回の講座において、各班で上牧町(奈良)について紹介していただくため、テーマを決めていただきました。



(第2回) 平成30年3月5日(月) 13:30～15:30 於: 2000 年会館 会議室②

- 当初予定していた、馬見丘陵公園の散策が雨天のため中止となり、室内でのレクリエーションに急きょ差し替えました。

参加者に英語で自己紹介を行っていただき、国ごとの文化の違い(食、象徴する人物など)をテーマに異文化交流を行いました。

※ 留学生はオランダ、ルーマニア、バングラデシュ、インドネシア、アルゼンチンのかたです。





(第3回) 平成30年3月22日(木) 10:00～12:00 於: 2000年會館 會議室②

- 第1回の講座で割り当てたテーマ「観光地」「食べ物・料理」「歴史」「昔の遊び・仕事」「趣味」について、各班において、参加者同士で協力しながら、紹介していただきました。

※ 留学生はオランダ、バングラデシュ、インドネシア、アルゼンチンのかたです。



★「歴史を学ぶ講座」コラボ企画 上牧町歴史ガイド養成講座 (参加者 65 名) ※定員 50 名

(第1回) 平成30年3月1日(木) 14:00～16:00 於: 上牧町役場 西館集会室

- 前半パートについては、「上牧町の弥生・古墳時代」をテーマに講義を行いました。「歴史を学ぶ講座」でも講師を務める社会教育課の関川尚功氏に講師を務めていただきました。



- 後半パートは、「上牧久渡古墳群出土遺物の見学」として、実際の遺物を展示し、実際に見ながら、説明を受けていただきました。



(第2回) 平成30年3月8日(木) 14:00～16:00 於: 上牧町役場 西館集会室

- 前半パートについては、「上牧町の飛鳥・奈良時代」をテーマに講義を行いました。前回に引き続き、社会教育課の関川尚功氏に講師を務めていただきました。
- 後半パートは、「上牧町と日本古代の瓦」について、取り寄せた遺物(瓦)を展示し、貴重な遺物を目の前に説明を受け、見識を深めていただきました。





(第3回) 平成30年3月15日(木) 14:00～16:00 於: 上牧町役場 西館集会室

- 最終回は、体験型レクリエーションとして、上牧久渡古墳群に実際に訪れ、社会教育課の関川尚功氏、青木勘時氏にガイド役を務めていただきました。参加者のかたには、現地で説明を受けていただきながら、あわせてガイドとしてのお手本についても示していただきました。



アクティブシニア移住支援コンシェルジュ

- あらゆる世代にとって暮らしやすいまちづくりの推進の一環として、高齢者が希望や生きがいを持って暮らすことができるよう、上牧町への移住を検討しているかたに対し、検討の段階から移住後まで切れ目のないサポートを実現できるよう、ワンストップ窓口を開設しました。情報発信として、起業・創業支援や生涯学習講座のチラシ等も設置しました。





4. 事業費

総事業費（実績） 907,602 円（＝①＋②＋③）

※国費 50%／地方創生推進交付金（うち対象分 1,600,000 円）

★ 起業・創業支援セミナー＆ワークショップ（399,600 円 委託料）…①

- 委託先：ランドブレイン株式会社 大阪事務所
- 契約額：399,600 円

★ 大学連携等による生涯学習出前講座（450,080 円 報償費・旅費・印刷製本費）…②

- 報償費：240,000 円
- 旅費：10,080 円
- 印刷製本費：200,000 円

★ アクティブシニア移住支援コンシェルジュ（57,922 円 備品購入費）…③

- 備品購入費：57,922 円（デスクセット等）

5. 事業の分析

起業・創業支援セミナー

★ アンケート調査結果

➢ 調査の概要

平成 29 年 12 月 16 日（日）13：00～15：00 に開催した「起業・創業支援セミナー・ワークショップ」の参加者を対象とし、アンケート調査を実施しました。

➢ 調査の方法及び概要

対 象：起業・創業支援セミナー・ワークショップの参加者

調査方法：直接記入

調査時期：平成 29 年 12 月 16 日（土）

回収状況：5 票（回収率 100%）

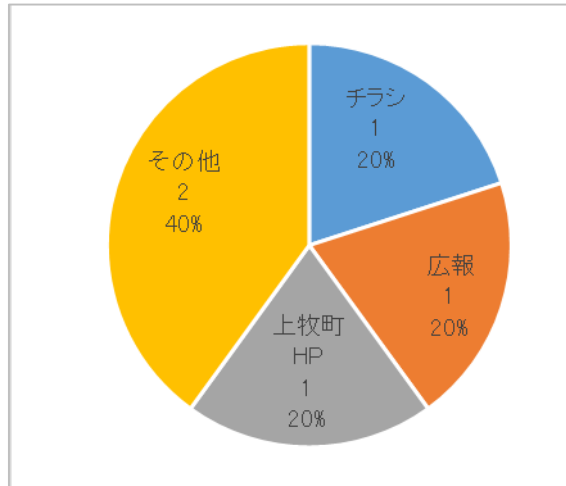


★ 調査結果の概要

□ ワークショップを知ったきっかけ

このワークショップを何で知りましたか（該当すべてに○）

「チラシ」「広報」「上牧町 HP」がともに 20%（各 1 名）となっています。



N= 5

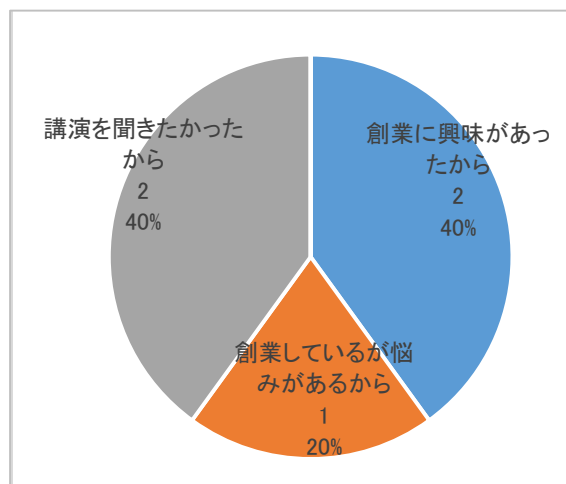
◎ その他の回答

・友人からの紹介

□ ワークショップ参加の動機

このワークショップに参加しようと思ったのはなぜですか（該当すべてに○）

「講演を聞いたかったから」「創業に興味があったから」がともに 40.0%（各 2 名）と最も多く挙げられています。



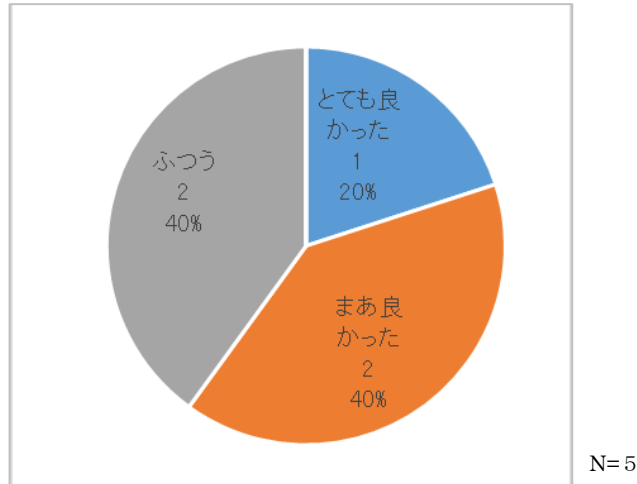
N= 5



□ワークショップの感想

このワークショップについてどう思われましたか

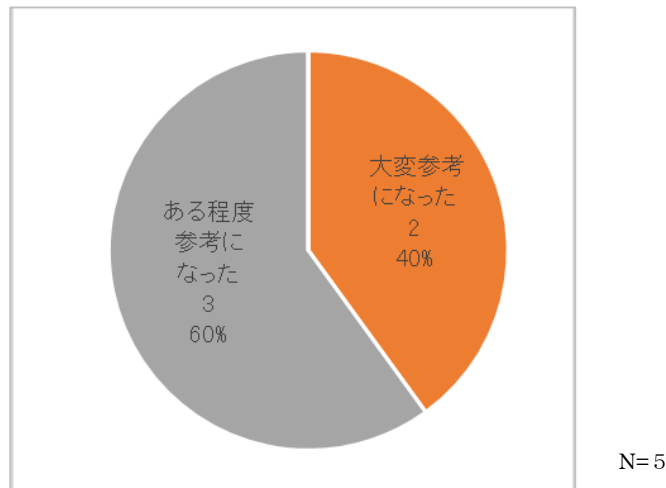
「まあ良かった」「ふつう」がともに40.0%（各2名）となり、「とてもよかった」が20.0%（1名）となっており、ほとんどが肯定的な回答となっています。



□ワークショップが参考になったか

このワークショップはあなた（お店・団体）に参考になると思いますか

「ある程度参考になった」が60.0%（3名）と最も多く、次いで「大変参考になった」が40.0%（2名）となっており、ほとんどが肯定的な回答となっています。

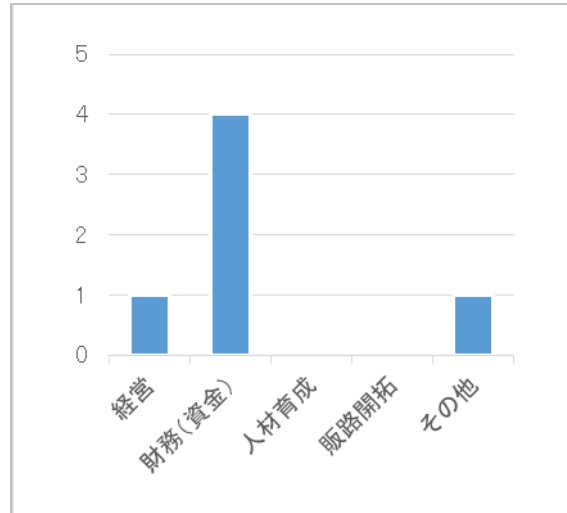




□創業にあたって心配なこと

創業するにあたって、心配に感じることは何ですか（すでに創業されている方は創業前・後に感じておられたこと、どちらでも可）（該当すべてに○）

「財務（資金）」が 67.0%（4 名）と最も多く挙げられ、次いで「経営」「その他」が 16.5%（各 1 名）となっており、資金面を心配している人が相当数存在することがうかがえます。



N= 6

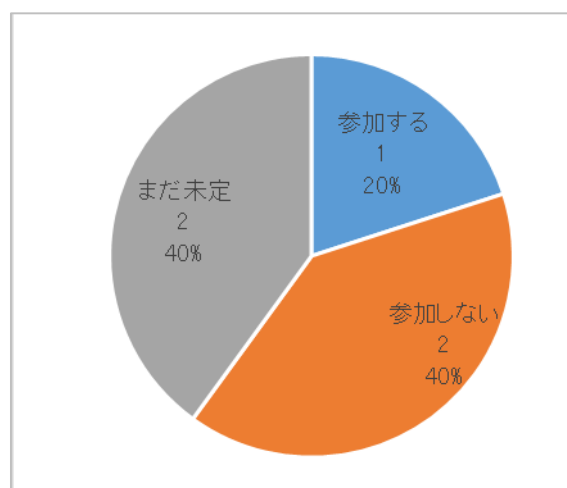
◎その他の回答

・うまくいくかどうか

□2018 年 1 月 21 日のワークショップへの参加度

2018 年 1 月 21 日のワークショップは参加しますか

「まだ未定」「参加しない」がともに 40.0%（各 2 名）となっており、「参加する」が 20.0%（1 名）となっています。



N= 5

□意見・感想

ご意見・感想等を記入ください

「必要があればまたお話を聞きたい」との意見が挙げられています。



起業・創業支援ワークショップ

★ アンケート調査

➤ 平成 30 年 1 月 21 日（日）13：00～15：00 に開催した「起業・創業支援セミナー・ワークショップ」の参加者を対象とし、アンケート調査を実施しました。

➤ 調査の方法及び概要

対 象：起業・創業支援セミナー・ワークショップの参加者

調査方法：直接記入

調査時期：平成 30 年 1 月 21 日（日）

回収状況：12 票（回収率 100%）

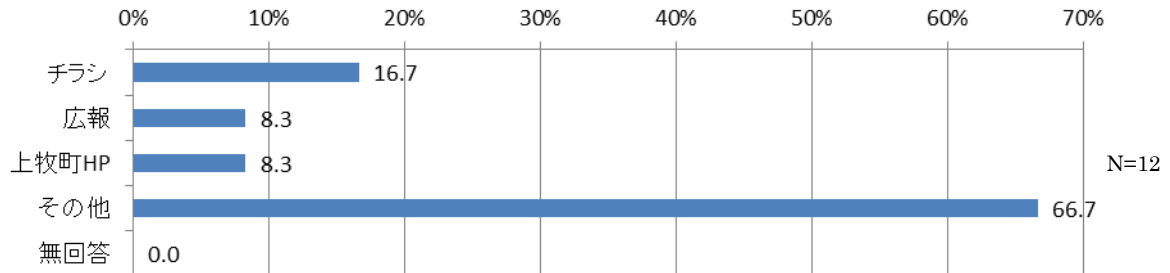


★ 調査結果の概要

□ ワークショップを知ったきっかけ

このワークショップを何で知りましたか（該当すべてに○）

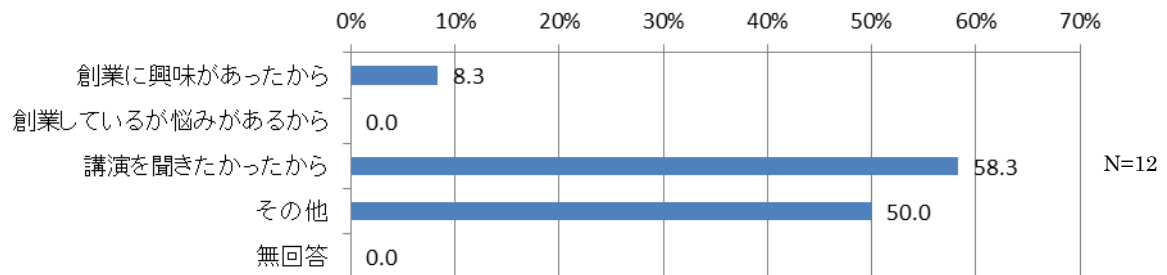
16.7%（2 名）が「チラシ」を挙げています。一方、「その他」を選択した 66.7%（4 名）のうち、4 名とも「先生からの紹介」を挙げています。



□ ワークショップ参加の動機

このワークショップに参加しようと思ったのはなぜですか（該当すべてに○）

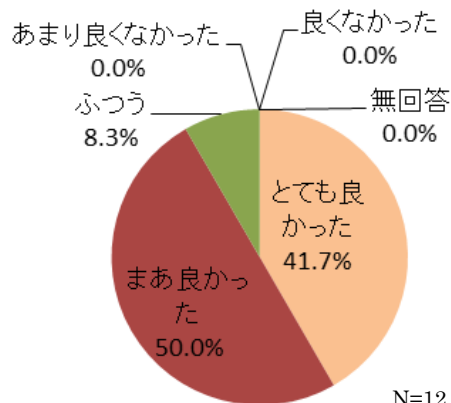
「講演を聞きたかったから」が 58.3%（7 名）と最も多く挙げられています。



□ ワークショップの感想

このワークショップについてどう思われましたか

「まあ良かった」が 50.0%（6 名）と最も多く、次いで「とてもよかった」が 41.7%（5 名）となっており、ほとんどが肯定的な回答となっています。

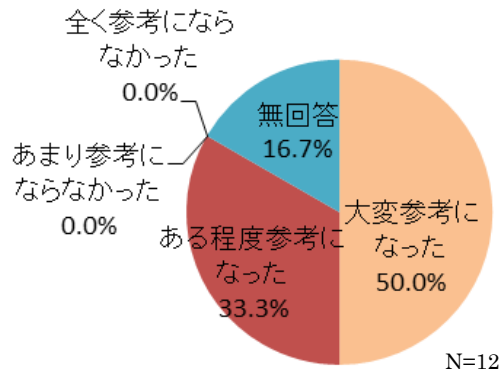




□ワークショップが参考になったか

このワークショップはあなた（お店・団体）に参考になると思いますか

「大変参考になった」が 50.0%（6 名）と最も多く、次いで「ある程度参考になった」が 33.3%（4 名）となっており、ほとんどが肯定的な回答となっています。



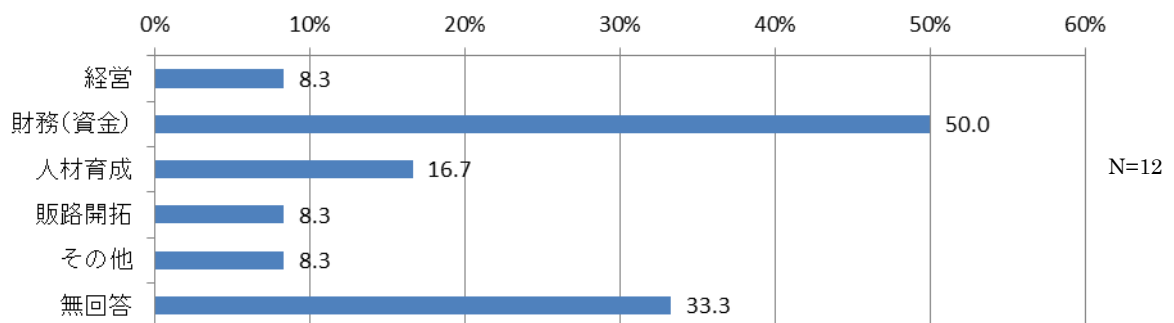
◎上記の理由

- ・田村さんの話が聞けて良かったです。
- ・田村さんの勢いを感じて、私も何かに突き進むべきだと思ったから。
- ・団体活動ですので、皆様の参考になる事は取り入れて行こうと思っています。
- ・ナナツモリの社長の話が良かった。
- ・貴重な意見。田村社長のお話等が聞いた。

□創業にあたって心配なこと

創業するにあたって、心配に感じることは何ですか（すでに創業されている方は創業前・後に感じておられたこと、どちらでも可）（該当すべてに○）

「財務（資金）」が 50.0%（6 名）と最も多く挙げられ、次いで「人材育成」が 16.7%（2 名）となっており、資金面を心配している人が相当数存在することがうかがえます。



◎その他の回答

・年齢

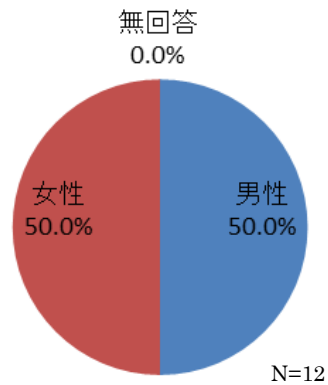


□回答者の属性

あなたご自身のことについて、差支えない範囲でご記入ください

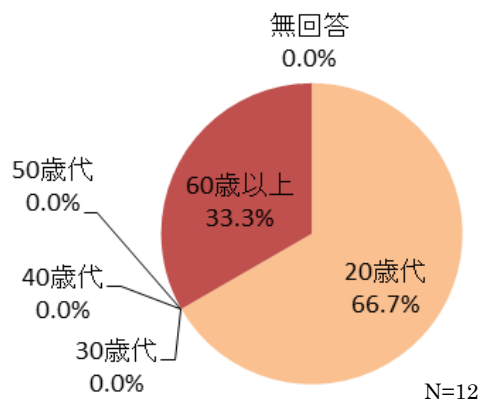
【性別】

「男性」と「女性」が半数ずつとなっています。



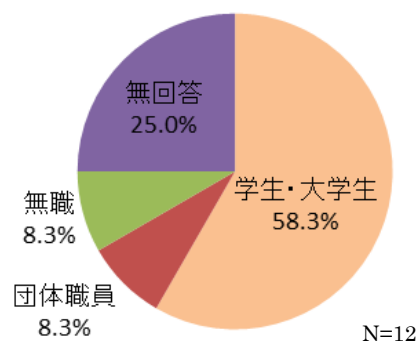
【年齢】

「20 歳代」が 66.7%（8 名）と最も多く、次いで「60 歳以上」が 33.3%（4 名）となっています。



【現在の職種】

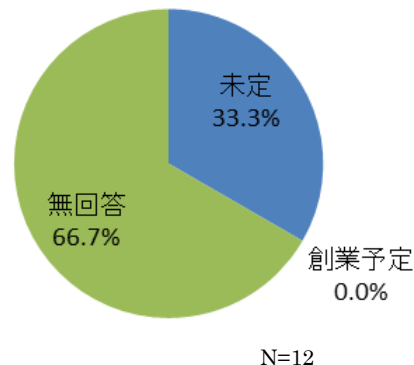
「学生・大学生」が 58.3%（7 名）と最も多くなっています。





【創業（希望）職種】

「未定」が 33.3%（4 名）となり、「創業予定」の回答はありませんでした。



□意見・感想

ご意見・感想等を記入ください

「地域の生の声を聞くことができた」、「参加者が少ないのが残念」などの意見が挙げられています。

◎自由回答

- ・地域の方の生の声を聞くことができる機会を設けていただきありがとうございました。
- ・貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。
- ・また来たいです。
- ・（・趣旨を読み切れない・全体をどうまとめるのか？）→気づき？
- ・参加者が少ないのが残念

★ 分析

参加者へのアンケート調査の結果から、起業・創業に必要な基礎的な知識習得については、概ね肯定的な意見が多く、基礎的な知識習得に一定の効果を得られたと考えています。また、起業・創業にあたっての不安要素として「財務（資金）」を挙げている回答が多くみられ、資金面でのサポートやアドバイスが求められていることがわかりました。

講演の感想についても、好意的な回答が多く、参加者の起業・創業への意欲も一定高まったと考えます。

起業・創業支援セミナー＆ワークショップでは、奈良県立大学の学生 7 名にも参加いただき、若者の視点から参加者に感じたことを問いかけるなど、多世代交流のなかで、新たなアイデアの創出に向けた意見交換を図ることができました。

起業・創業への足掛かりとして、「実現するために求めるコト」の意見交換では、「若い人の参加」「空き家（集える場所）」「周囲との共有・宣言」「周りに広がるように考える」「他分野との交流」などの意見が多く、今後、参加者が集う場の提供や環境づくりを推進することが必要であると考えます。



大学連携等による生涯学習出前講座

★ アンケート調査結果

➤ 調査の概要

平成 30 年 3 月 18 日（日）13：00～15：00 に開催した「健康支援講座」の参加者及び
平成 30 年 3 月 22 日（木）10：00～12：00 に開催した「英語講座」を対象とし、アンケート
調査を実施しました。

➤ 調査の方法及び概要

対 象：健康支援講座・英語講座（ともに第 3 回）の参加者

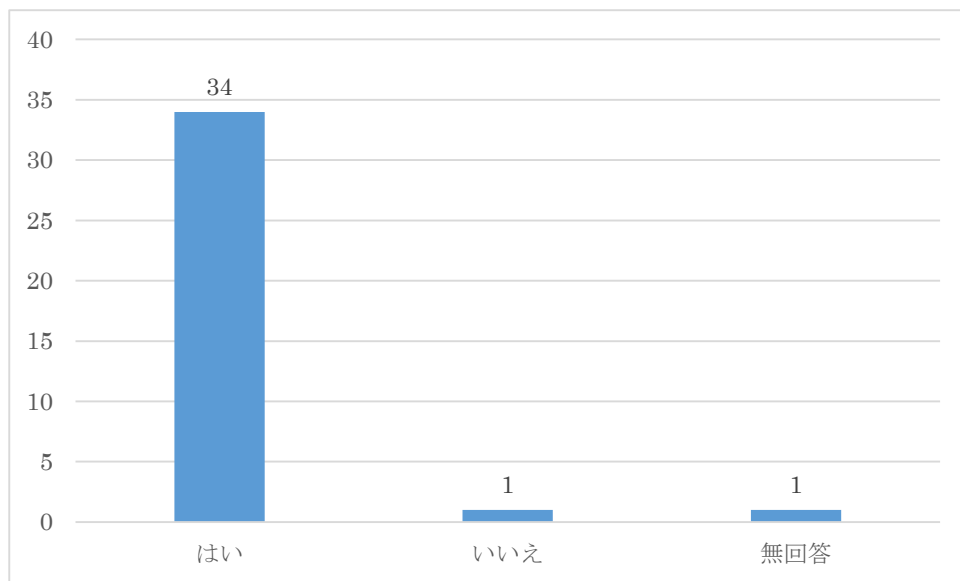
調査方法：直接記入

調査時期：平成 30 年 3 月 18 日（日）及び平成 30 年 3 月 22 日（木）

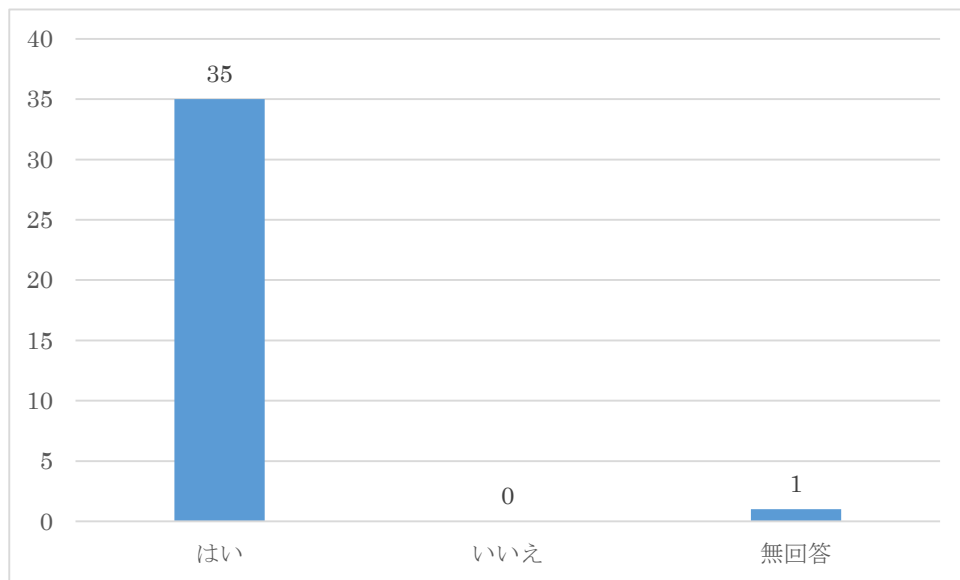
回収状況：36 票



1. 講座で学んだ内容を自身の今後の日常生活において継続したいと思いますか？

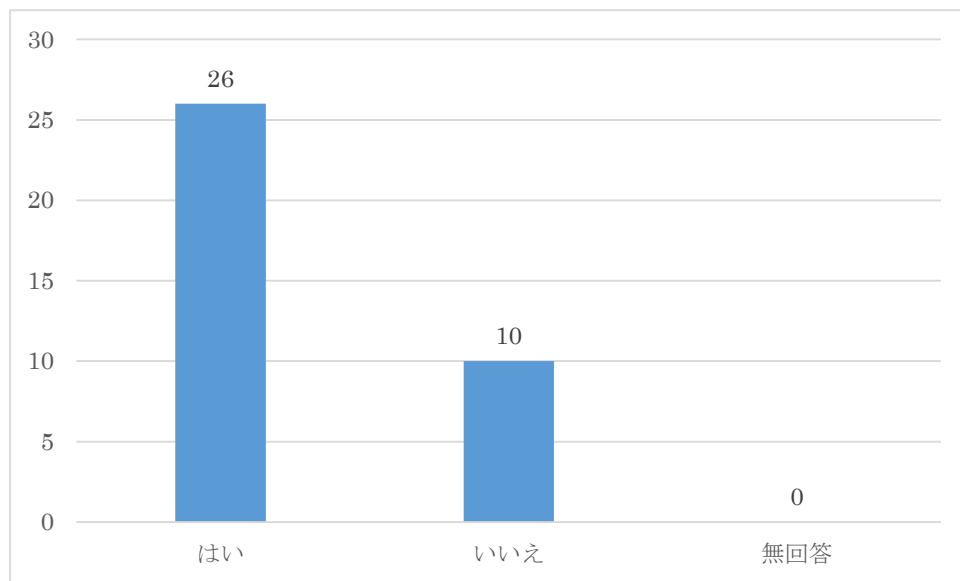


2. 奈良女子大学との連携による初の試みでしたが、今後も参加したいと思いますか？

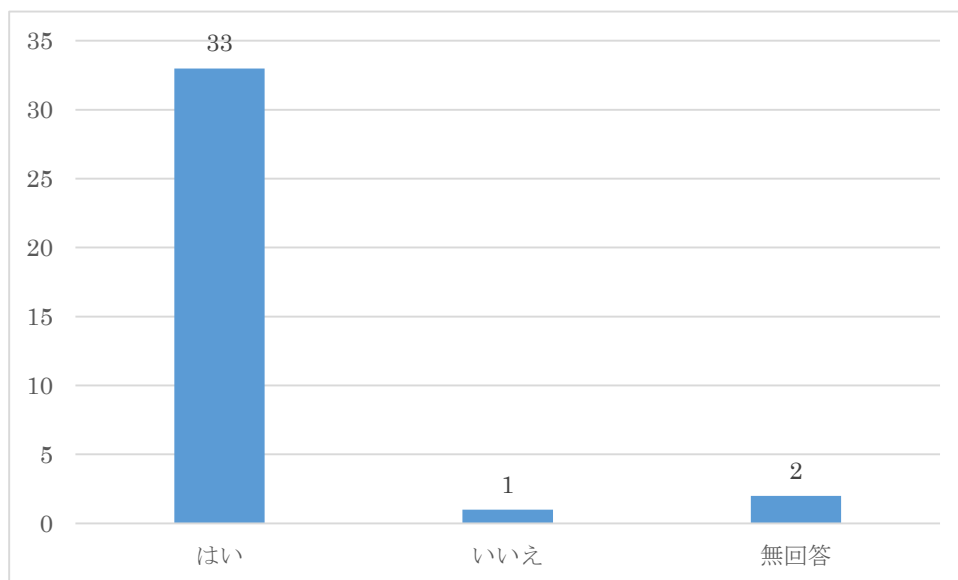




3.本講座の参加を通じて、新しいお知り合いはできましたか？

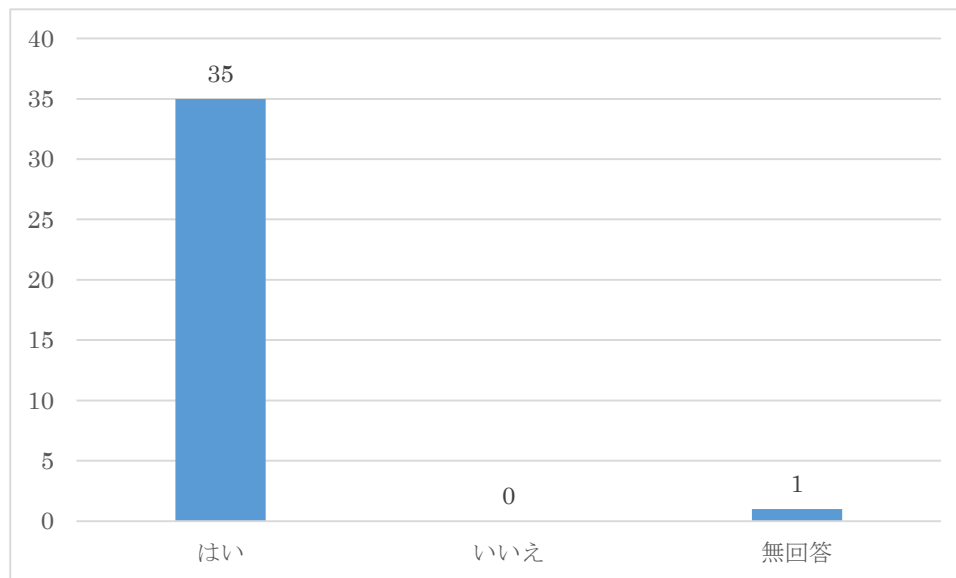


4.受講中、楽しく幸せな時間をお過ごしいただけましたか？





5.健康寿命の延伸、学びを通じた生きがいや居場所づくりなど目指し、こうした取組を地域に浸透させていたきたいと考えています。講座への参加を含め、今後無理のない範囲でご協力いただくことは可能でしょうか？



6.その他意見

- ・ 講座に参加して、以前のスポーツ観が少し芽吹いたように感じる
- ・ ボッチャやスポンジボールテニスなど知らなかったスポーツを体験できてよかった
- ・ ストレッチが楽しかった
- ・ 知らなかった運動ができ、いろいろな知識を学ぶことができた
- ・ ボッチャ、コグニサイズが楽しかった
- ・ コグニサイズは認知症予防にいいのではないかな
- ・ コグニサイズは仕事に大変役に立つと思った
- ・ 健康について改めて勉強できた
- ・ 知らないかたとコミュニケーションを取れた
- ・ スポーツの楽しさが分かった
- ・ 程よく汗をかくことができた
- ・ 奈良女子大学の先生を招いて、いろいろなお話を聞かせていただけてよかった
- ・ 留学生と話す機会が持ててよかった
- ・ 上手に英語を話す同年代のかたの話を聞いて、もっと楽しみたいと思った
- ・ 各国の文化を教えてもらうことができました
- ・ 留学生との交流がとても興味深かった
- ・ 留学生に自国を紹介していただいたり、グループで話をできてよかった
- ・ 英語でのプレゼンテーションがよかった
- ・ いろんな人が元気に英語を学んでいる姿に感動しました



7. 分析

アンケートの結果から、参加者は概ね満足されていること、参加したことで今後も継続的に取り組んでいきたいと考えていることがわかります。また、本事業について、地域への浸透についても積極的な協力・参加の意向が示されており、継続していくことで健康寿命の延伸や地域のつながり、生きがい・居場所づくりなどの効果を得られることが期待できます。

上牧町歴史ガイド養成講座については、アンケートサンプルはありませんが、参加者数が定員を超え、終了後も継続を期待する声が最も多く寄せられている講座であり、こちらも継続的に取り組むことで、地域の担い手づくりや町の活性化につながると考えます。

6. 事業の効果

★ 地方創生推進交付金実施計画における KPI（重要業績評価指標）

➢ 人材バンク登録者数 50 人（平成 30 年度終了時点）

実績 20 人（平成 29 年度終了時点）

※上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略における KPI・・・20 人（平成 31 年度終了時点）

➢ 60 歳以上の転入者数 200 人（平成 30 年度終了時点）

実績 193 人（平成 29 年度終了時点）

7. 今後の展開

① まきっ子塾

子どもの学力向上はもとより、退職した元教職員を指導員に起用することで、自活可能な高齢者を増やしつつ、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、地域づくりに向けて、高齢者と多世代が交流しながら、活躍する場と機会の創出するコミュニティとして期待される「まきっ子塾」を継続します。

② 空き家を活用した起業・創業支援事業

アクティブシニアを中心に起業・創業を目指すかたが利用できるスペースとして、町内空き家の有効活用し、環境整備を行います。

③ 奈良女子大学との連携

奈良女子大学との交流を継続し、今後も様々な事務事業において連携できるよう関係の構築を目指します。

④ 歴史ガイド養成講座

継続展開の要望のある本講座について、新たな展開に向けて、関係機関と調整を図ります。

⑤ アクティブシニア移住支援コンシェルジュ

アクティブシニアの移住希望に対し、切れ目のないサポートを行うとともに、取り組みに関する情報発信を継続して行っていきます。

